

「見て」「聞いて」「感じて」自分を守る。家族を守る。

ハカルワカル広場 映画会 開催

< 第 18回 >

母の遺した一冊の本。

それが私を

旅へといざなった。

わたしの、 終わらない旅

坂田雅子監督作品

2018年

3月3日(土)

開場 13:00、上映 13:30~14:50

意見交換会 14:50~15:30

会場：北野市民センターホール

【入場料】前売り券：1,000円／当日券：1,200円
(障がいのある方、および高校生以下は無料)

託児あり

10日前までにハカルワカル広場までご相談下さい。
TEL 042-686-0820 (火曜~金曜 10時~15時)

主催

八王子市民放射能測定室
ハカルワカル広場

会場案内図



【住所】八王子市北野町 545-3

【TEL】042-643-0440

※駐車場はありません。近くの有料駐車場をご利用下さい。

フランス、マーシャル諸島、カザフスタン、そして福島—————。

核に翻弄される人々を訪ね、兵器と原発という二面性をもつ核エネルギーの本質を探る。



母のきた道を辿る、わたしの旅

坂田雅子監督からのメッセージ

福島原発事故から4年の日本（注 映画公開当時）。まるで、あの事故がなかったかのように、原発再稼働の掛け声が響く。技術や科学が人間を置き去りにして進んでいく。私たちは、目を見開いて、人間らしく生き続けられる道を探らなければならない。今、わたしに来ることは「聞いてください」と声をあげ続けること。母がしてきたように。各地を旅してわたしが聞きしたのは、大きな悲劇のほんの一部でしかない。それぞれの場所、それぞれの人により深く、より多くの襲をもった物語がある。それでも、知り得たことを映画という形で皆さんと共有することによって私は生きる手応えを感じる。



フランス／フランス反核運動家
ラ・アーク再処理工場、
プルトニウムやウランが劣悪
な状況で保管され、廃水から
深刻な放射性物質が検出。



マーシャル諸島／島民の人々
66年前アメリカは島を奪つ
た。それ以来我らは帰れな
い。



カザフスタン／医師
私は核実験が原因だと。
自殺、精神病、先天性
異常などです。



フランス／元原発労働者
それが人を殺すことを知
りながら、原子力の電気
を使うのか？



大石又七／第五福竜丸船員
ビキニ事件をあの時点
からみんなで考えてい
けば、違った方向に行
ったと悔やまれます。

監督 坂田雅子（さかた・まさこ） ドキュメンタリー映画監督。

1948年、長野県生まれ。京都大学文学部哲学科で社会学を専攻。2003年、夫のグレッグ・デイビスの死をきっかけに、枯葉剤についての映画製作を決意、2007年、『花はどこへいった』を完成。毎日ドキュメンタリー賞、パリ国際環境映画祭特別賞、アースビジョン審査員賞受賞。2011年、NHKのETV特集「枯葉剤の傷痕を見つめて～アメリカ・ベトナム 次世代からの問いかけ」を制作し、ギャラクシー賞を受賞。同年2作目となる「沈黙の春を生きて」を発表。仏・ヴァレンシエンヌ映画祭にて批評家賞、観客賞を受賞、文化庁映画賞・文化記録映画部門優秀賞、2015年「わたしの終わらない旅」劇場公開。



ハカルワカル広場はボランティアと、維持会員の会費で運営されています。



〒192-0053 東京都八王子市八幡町5-11 八中ビル2F
お電話 問合せ **042-686-0820**

HP: <http://hachisoku.org> メール: hachisoku@gmail.com

【開室】火～金曜日：10時～15時、土曜日：10時～12時

ボランティア、維持会員募集中！

お問い合わせはハカルワカル広場まで

寄付も大歓迎です！ ゆうちょ銀行 00180-8-290904(八王子市民放射能測定室)、
他行からの振り込みは 018-0224460(八王子市民放射能測定室)

案内地図

- 徒歩：JR八王子駅(北口)より約20分、京王八王子駅より約23分
- バス：JR八王子駅(6番～10番乗り場のバスならどれでも)、京王八王子駅(主に1番のりば、2,3番も少し)から約8分。「織物組合」下車、バスの進行方向(西八王子方向)に歩いて約1分
- 車：国道20号 八幡町交差点より西八王子方面へ約100m
※駐車場がありませんので近くのコインパーキングをご利用ください